

# 留 学 報 告 書

記入日: 2014年6月6日



所属学部／研究科・学科／専攻	商学部 グローバルビジネスコース
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ミズーリ州立大学 現地言語: Missouri State University
留学期間	2013年8月～2014年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1～2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2014年6月4日
明治大学卒業予定年	2015年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月上旬 2学期:1月中旬 3学期:5月中旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬,2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約2万人
創立年	1905年
特徴	大学街で周囲に別の大学が複数ある。州自体の学費と住居費が全米の中でもかなり安く、その中でもこの大学の費用は安いようだ。地域的に宗教保守であり、キリスト教諸宗派の本部が置かれている地域に位置する。

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料		円	明治大学の学費を払う、ミズーリの学費は無し。
宿舍費	4,834	48万3千4百円	
食費	3,000	30万円	
図書費	700	7万円	
学用品費	200	2万円	
教養娯楽費	2,000	20万円	
被服費	500	5万円	
医療費	0	0円	
保険費	1,500	15万円	形態:
渡航旅費	3,000	30万円	
雑費	500	5万円	
<b>合計</b>	<b>16,234</b>	<b>162万4千3百円</b>	

## 渡航関連

渡航経路: 成田ーシカゴースプリングフィールド

渡航費用

チケットの種類	デルタ航空エコノミー
往路	16万円
復路	14万円
合計	約30万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

地球の歩き方 アメリカ

取得したビザについて教えてください。

ビザの種類: J-1

ビザ取得方法: 自分で大使館に行った。

その他渡航やビザ取得に関してアドバイスがあれば教えてください。

免許を持っている場合は初年度の更新をしてから行くこと。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

 個室 OR  相部屋(同居人数 1)

3)住居を探した方法:

大学から指示が届き、その中で寮の申し込み方が同封されている。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Sunvilla という寮ですが、交換留学生と現地人の割合が5対5程度でとても住みやすいので、この寮を強くお勧めします。どんな人とルームメイトになれるかで、大分生活の質が変わってきます。あまり多くないですが、日本語を勉強している学生と同じ部屋になれるとうまくいきやすいです。2人部屋がお勧めです。理由は3~5人部屋だとシャワーやお手洗いを使いたいときに誰かが入っていて不便だからです。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した: 学内の医務室で髄膜炎とインフルエンザの予防接種を受けた。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友人や留学事務室の担当者に相談した。学生の様々なニーズに対応した相談窓口もあると思うが、基本的には利用する機会がない。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

基本的には現地にいる日本人や現地人の友達に聞いた。また、キャンパスの中や周辺で犯罪が起きた時は、大学のメールアドレスにその詳細が送られてくる。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

この寮は二階の公共スペース以外ではWiFiが飛んでいないので、有線LANケーブルがいる。部屋にあるいくつかのポートの内の一つに登録すると、そのポートしか使えない。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードとグローバルキャッシュカードを使った。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

歯ブラシ。その他身の回りの物。アメリカの歯ブラシは大きすぎて口の形に合わない。

## 進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
帰ってからゼミの教授と話し合った。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思っている、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。 英語学習もそうですが、日本で学んでいたことが留学生活の基礎になります。当然ですが、日本語で面白い何かを発信できない日本人は英語で面白い何かを発信する事はできません。日本でどれだけ学んだかで留学の充実度も変わってきます。せっかく留学に行くなら、なるべく日本人の少ない所に行った方がいいです。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Writing I	英語 I
科目設置学部・研究科	英語学部
履修期間	秋期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ワークショップ、講義等
授業時間数	1週間に2時間50分が1回
担当教授	Jeffrey M Krakow
授業内容	MLAというアメリカの大学の参考文献書式が学べる。書いたエッセイを生徒同士で交換し、長所、短所をコメントする。テーマは自由なので自分で書きたい事が書ける。
試験・課題など	6本のエッセイを提出。3ページが4本。5、10ページが1本ずつ。試験は無い。
感想を自由記入	10ページのエッセイの提出を求められたときは愕然としたが、終わってみると自信につながる。1度提出したエッセイは先生の添削と採点付で返却され、1週間後に推敲したものを再提出できる。先生は更にそれを見て評価をあげてくれる。最初からAやA-なら直す必要はない。互いに3つの話を紹介し、1つは嘘でそれをあてるというゲームが面白かった。先生がとにかく素晴らしい人で、とても為になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Global Studies		国際情勢入門	
科目設置学部・研究科	Global Studies		
履修期間	秋期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、プレゼン、ディスカッション		
授業時間数	1週間に1時間15分が2回		
担当教授	J Dane Wallace		
授業内容	アメリカと世界情勢に関する問題。具体的には戦争鉱物や人身売買、巨大多国籍企業の賄賂による途上国進出、水ビジネスの趨勢や、遺伝子組み換え食品の問題について。		
試験・課題など	授業を通して、教科書の該当部分ごとの小テストと、授業で使用した資料に対する2ページ程度の感想と小レポートを3本。最後はグループプレゼンテーションを行った。		
感想を自由記入	こういった授業に登録している人は自分が留学をしていたり、世界に興味を持っている人が多いので、留学生に対してオープンで仲良くなれる。先生もとても素晴らしく、ディスカッションがうまくいくように様々な工夫をしてくれた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Social Problems In the Community		アメリカの社会問題	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	秋期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション		
授業時間数	1週間に1時間15分が2回		
担当教授	Lyle Q Foster		
授業内容	アメリカの公共教育、小中高等学校が抱える人種的な問題や、大学中退率、不法移民問題、ゲットー、ホームレス、差別、消費至上主義、中流階級の消失、極端すぎる所得の分配構造などほぼすべてではないかというほどの内容を扱う。社会問題そのものの定義と起因に対する議論も。		
試験・課題など	計4回のテスト、短答式や正誤判断、小エッセイを含む。レポートが2本。自分が興味のある社会問題に対するリサーチと、実際にボランティアし、その体験のフィードバックを書くもの。		
感想を自由記入	先生が面白く、またアメリカの社会問題に対する理解を図ることは、アメリカそのものに対する理解に繋がったと感じている。教科書の情報量も精緻で広範であり、アメリカのもう一つの姿を感じる事が出来る。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
American Democracy and Citizenship		アメリカの民主主義と市民権	
科目設置学部・研究科	Political Science		
履修期間	秋期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に1時間15分が2回		
担当教授	Mark E Rushefsky		
授業内容	アメリカの政治システムについての一般理解。大統領選挙や、二大政党制、政治とマスメディアの関係性、どの集団が投票に行き、どの集団が投票に行かないのかなど。		
試験・課題など	計4回のテストのみ。多肢選択型。		
感想を自由記入	アメリカの政治システムを理解することは、アメリカについて理解を深めることになった点では良かった。しかし、多肢選択型の試験は1点か0点かで、単語の並びや一語違うだけで違う意味になるので、留学生に私には辛かった。加えて、細やかなルールを聞いてくることも多く、戸惑った。現地の学生の中でも最も不評な授業の内の1Fだった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Fundamentals of Public Speaking	雄弁術基礎
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	春期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、プレゼン
授業時間数	1週間に1時間15分が2回
担当教授	Sandra Kay House
授業内容	プレゼンテーションのアウトラインの書き方に従い、プレゼンを構成する。そして実際にクラスでプレゼンをする。教科書にプレゼンの課題を与えられた人はいつもっともナーバスになるのか、どのようにして聴衆の注意をひきつけられるのか、どのように緊張を解くのかなどが、科学的な根拠を基に掲載されている。
試験・課題など	プレゼンのアウトラインを書き、実際にプレゼンする。教科書該当部分の小テストと期末テスト。
感想を自由記入	先生がとても素晴らしく、どうしたら緊張が解けるのか、どうしたら聴衆の前で堂々とふるまうことができるのかなどのテクニックを教えてください。日本ではこうした雄弁術的授業を学生受けないまま、人前で話せるかどうかはその人の性格と得手不得手次第とすぐに片付けてしまうと思うが、アメリカでは最低でも大学生全員にこれを学ぶ機会を与える。この授業は最も為になった授業だったので留学する人は皆取るべき。ノンネイティブはクラスに私だけで最初は緊張したが徐々に慣れていった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Journalism	ジャーナリズム入門
科目設置学部・研究科	Journalism
履修期間	春期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Jack E Dimond
授業内容	アメリカの新聞とニュースを編集していると想定して、どの記事が一面に載るべきかなどを議論した。また新聞記事等の書き出しはどうするべきかなどの技能的な事、人にインタビューの方法なども学んだ。
試験・課題など	実際に先生が抜粋した新聞の記事を読んで、どの記事が一面に載るべきで、どの記事がそうでないのか、理由を考慮してレポートに記すものがあつた。面白いニュースを探してきて、インタビューして記事にするという課題があつた。
感想を自由記入	実際に面白そうなことを探してインタビューして記事にする課題はとても面白いものになった。大きいインタビュー課題と校正等の小さい課題とあつたので、小さい課題は2時間程度、大きい課題は4-5日かけた。ジャーナリズムの面白さを実感できた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Social Work	社会福祉入門
科目設置学部・研究科	Social Work
履修期間	秋期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、プレゼン
授業時間数	1週間に1時間15分が2回
担当教授	Regina M Russell
授業内容	アメリカのソーシャルワーカーを目指す人は必ずとる授業。アメリカならではの社会福祉士が早期からボランティアではなく、職業、専門的性質を帯びてきた理由について学ぶ。
試験・課題など	選択肢型のテストが4回あつた。教科書の知識を問うもの。
感想を自由記入	内容が一般的過ぎたのでかなり退屈だったが、アメリカの社会問題の色濃さを肌で実感することはできた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introductory Psychology	心理学入門
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	秋期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、グループスタディー、WEBテスト
授業時間数	1週間に1時間15分が2回
担当教授	Michelle E Visio
授業内容	心理学についての概要。社会心理学や記憶、学習、心理学の実験の仕方、歴史に関する知識を得る。
試験・課題など	毎週My PsychLab というサイトを通じて2つのテストと心理学の実験に参加する。その他にも3回程度の中間試験がある。中間試験前には必ず少人数の勉強会に別途参加しなくてはならない。
感想を自由記入	実際に課題が多くかなりの勉強時間を要した。オンラインと実際の授業がミックスされたブレンドコースというものだった。授業もオンラインで行う実験も、対人で行う実験もとても興味深かった。

留学に関するタイムチャート
---------------

**留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。**(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2013年 1月～3月	選考合格のメールをもらう。2年の後期試験を受けながら、書類等の提出期限には気を配った。日本の事をもう一度見ようと思い、冬休みに広島原爆ドーム、名古屋、京都、大阪を青春18切符で旅行。
4月～7月	3年前期を過ごす。4年間で卒業する事を考えているので、およそ36単位取得。ビザや履修登録、寮の手配などの書類集めも行う。環境の変化に耐えられるように走るなどトレーニングした。バイトを辞める。
8月～9月	留学開始。英語はつたなく、聞き取り能力も乏しく、語彙も少ないので毎日の生活すべてが勉強。
10月～12月	ポストンキャリアフォーラムに行く。初めて就職活動というものをアメリカで経験する。英語をしゃべることに慣れてきて、自分が関心のある分野はディスカッションで頻繁に発言するようになる。
2014年 1月～3月	冬休み中にロスアンゼルス、ラスベガス一人旅をする。後期開始。よりネイティブの発音に近づけるように努力する。聞き取りがもっとも難しいので、そこに集中した。
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	